



『お待たせっ
りゅーくん♡』

「もも センパイっ♡」

僕の彼女—
笠井もも センパイは
1つ年上のチア部の先輩

部活で恋愛が禁止されている
僕達はこうして少し離れた町で
デートすることが良くある…

いや、あった

最近 もも センパイは
部活や勉強で忙しいらしく
放課後も一緒に帰れないことが多い

前までは家まで一緒に帰って
…エッチもしていたけど…

『どうしたの？ りゅーくん
ぼんやりしちゃって…』

「いやっ… なんか
センパイの私服見るの久々で…
大人っぽくなったというか
…カワイイですっ!!」

久々にもも センパイと
二人っきり…
話したいことも
行ってみたい場所も沢山ある
でも一番は…

「っ… センパイっ!!
一回止めてっ」

ズッ

『もうっなにそれ(笑)
それより… 今日
久々のデートなんだから
いっぱい楽しもうね?』

「っ… ハイっ!!」

ズッ
『フッフっ気持ちいい?
りゅーくんっ?』

『良いんだよ？
そのまま出しちゃって(笑)』

『でもっ…こういうの久々だし…
センパイとエッチしたくてっ…ああ!!』

2カ月くらい前
ももセンパイは突然僕に
オナホを渡してきた
最初は動揺したけど…
それも僕を思っただけの
ことだったらしい

言いつけ通り僕は
ももセンパイとエッチはせず
オナホですぐにイかない
練習を続けてきた

今日は久々の
ももセンパイとのデート
練習してきた僕と
エッチしてくれるのかと
思ったけど…

「っ…!!もう出るっ!!」

久々の射精も…
いつも通りオナホで
してしまった—

「セ…センパイ僕…
センパイとその…」

『あゝ(笑)今日はもう
終わりにしよう？
オナホでイっちゃったし…』

「っ…でもっ!!」
『二発出して勃つ?(笑)
練習なら付き合っただけから
焦らないで?ね?』

結局この日僕は情けなく
射精しただけで
ももセンパイとキスも
裸を見ることも出来なかった

「でっしてきたのかよ…」

「処理」

『はい…してきましたあ♡
してきましたからあ…』

んほ♡

グググ

お♡

グググ

『今度は ももの
オマ●コお●』

『セニパイのオナホに
して下さいい●』

お●●●●

っ●●●●

お●●●●

お●●●●

お●●●●

お●●●●

これやば●

いぎ●●●●

っほ●

いっ●●●●

ズ●●●●

ズ●●●●

ヌ●●●●

っ●●●●

「ハハWWりゅーの奴が見たら
ぶっ倒れるだろうなW
自分のことはオナホコキしか
してくれない彼女が

別の男にはマ●ズリして
チン●ねだってるなんてなあWW」

『だってええ●これしらないと
セニパイチ●ボ貰えないからあ…●』

そう…全部
この人のせい

先週からずっと
セニパイはおチ●ポ
してくれない…

こんな立派なモノ見せつけて
触るだけで終わらされて

命令を聞けないと
二週間セニパイチ●ポ禁止
りゅーくんチ●ポの刑にするぞって
脅されて

…だから今日だって



はぁ♡

ブル

『うっうん…
何でもない…
あはは…♡』

はぁ♡

センパイの意地悪う…♡
折角のセンパイとの
セックスなのに♡

っ♡

ミチ

ペチ

ブル

りゅーくんと
通話してる間しか
ピストンしてくれない
なんてえ♡♡

っ♡

ん♡

っはぁ♡

『運動？電話してて
大丈夫ですか？』

『うんっ♡』

『そう？なんか
変な音も聞こえるけど…』

『えっとお…♡自主練…
してる音かなあ？運動っ♡
しててえ…』

ペチ

ペチ

ん♡
ちんぽめしん

『平気♡…っだよ♡』

『もちセンパイ…
今日のことなんですけど…』

「ごめんなさい…
ホントは僕、ももセソパイと
エッチなことしたくて…
貰ったオナホでも
練習してたんですけど…」

ダメっ…♡こんなおっきいので
パンパンされながらなんてえ…

カンケルない人の
話なんて…
聞いてらんない♡

「だから僕…」

ちょ…この体勢…♡

一番深くまで
来ちゃうヤツ♡♡

「もしもし？
ももセソパイ？」

『ダメーね…
リャーク♡♡』

「え？」

「おいw何勝手に切ってんだよ？」

「うてえ♡この体勢は反則う♡
エツチな声絶対抑えられない♡
お子様セックスしか知らない
りゅーくんには刺激強すぎだから
聞かせらんない♡」

センパイ凄すぎるう♡
大きさも体力も…
アレとは全然違うう♡

「△△wだなw
この本気セックス
味わえるのは」

「俺とももだけの
特権だもんな♡」

今までの
セックスって
何だったのおー…♡♡

「ほらっもも
いつまでもち●こ
しゃぶってねーで鏡見るw」
『ふああい♥』

「へへwwすつかり
マ●コ顔だなw
りゅーに謝っどけw」

『りゅーくニゴメンねえ♥
私い♥オナホコキ専用の
おままごと おちんち●じゃ
なくってえ…
女の子をちゃんとイカせられる
セニパイのムキムキチ●ポ
じゃなきゃダメなの♥』

『セニパイは
彼氏がいる ももを
いじめるのが
大好きだからあ…
セニパイの為にも
まだ彼氏でいてね♥♥』

『もものオマ●コは
セニパイ専用だから
これからオナホコキで
ザコ遺伝子処理して
あげるからね♥』

りゅーくんは
即体です

「へへwひでー女w
今の聞いてたら
コフンしてきたわw
もっかいやるぞもも♥」

『あーん♥何回でも出来るセニパイ
カッコいいですう♥ もものオナホマ●コで
いっぱいビュビュして下さいね♥』















